

## 顛末書

名 称	中野市北部地区小学校統合準備委員会 第8回通学・安全部会
日 時	平成30年7月3日(火) 午後6時30分～午後8時15分
会 場	北部公民館 研修室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席委員12名 池田信一、原澤英樹、長張むつ美、岩下定秀、綿貫太郎、丸山和広、鈴木紀代子、湯本和子、須藤賢司、齋藤義和、宮澤和三、下川昌平</li> <li>・事務局職員等 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、池田指導主事、宮崎主査、宮津先生</li> </ul>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 会議事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学方法等について(事務局から資料に基づき説明)</li> </ul> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉 会</li> </ol>
主な質問・意見等	<p>&lt;深沢・東越児童の通学方法における意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市道平岡10号線における歩道設置はいつ頃になるか。 →早くても4～5年はかかると思われる。</li> <li>●通学路になった場合の除雪も考えていかなければならないと思う。</li> <li>●歩道がない状況の中で近いから歩かせるという意見もあるようだが、保護者にとって一番重要なのは安全が担保されることだと思うので、その点も考慮し、歩かせるのか、それとも危険だからバスにするのかを考えていかなければいけないと思う。</li> <li>●歩道が無い平岡10号線又は堤防道路を支援員の付き沿いのもと歩かせることはできないかとの話しがあったが、交通量が多いことや特に大型車の通行が多くて歩くには非常に危険であると思う。 →既決しているとおおり深沢区はスクールバス、越区は徒歩とすることとした。 深沢のバス停については、深沢下(市川商会所有地付近)とする。</li> </ul> <p>&lt;通学バスの運行計画における意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●岩井において、冬場の下校時(特に大雪時)、夕方の除雪が入らないため、保育園バス同様にスクールバスが村中まで入っていただけるようにならないか。 → 除雪体制の関係もあるので、意見として承る。</li> <li>●長丘小学校のバス停は敷地内になるのか。また、敷地内になった場合、バスの待合場所を明確にしてほしい。 → 敷地内の予定で、待合場所については対応したい。</li> <li>●マイクロバスの関係で、法的には28人以上乗れるというが、行事などがあって荷物が多いときは少し厳しいのでは。</li> <li>●長丘小学校バス停における登校時のバスの出発時刻が2便とも7時20分であるが、学校まで遠い児童もいるため、1便を遅らせて出発できないか。</li> <li>●高学年が先に出発するため、低学年がしっかりバスに乗れるか心配。 → 登校時におけるスクールバスの時間を長丘小発の1便と岩井入口発の便の時間を入れ替えることとした。(9分程度)</li> <li>●降雨時などの待合の関係で、平岡小入口のバス停の改善要望。</li> <li>●公共バスの座席増の要望。</li> <li>●例として、スクールバスのドライバーが突発的な体調不良で当日運転できないなどイレギュラーのことが起きた場合、対応できるのは公共バスだと思う。スクールバスが全部良いとは限らないと思う。</li> <li>●バスを待つ関係上、トイレを確保できないか。</li> </ul>